

大和高田市新庁舎建設事業 設計・施工業務 受託候補者を 選定いたしました

大和高田市では、新庁舎建設事業を進めるに当たり、設計・施工一括発注方式を採用し、その設計・施工を行う事業者選定を公募型プロポーザルにより実施しました。

去る平成30年8月11日(土・祝)に、事業者選定委員会を開催し、下記の事業者を選定しました。

今後は、新庁舎建設の基本理念である「夢」・「笑顔」咲き、「未来」へと時を紡ぐ 人と地域の「輪」を育む よりどころ の実現に向け、設計・施工へと進めてまいります。



※あくまで提案内容であり、実際の設計とは変更となる可能性があります。

【事業者名】 戸田建設・安井建築設計事務所共同企業体

設計・施工業務 受託候補者 選定までの流れ

平成29年8月 「新庁舎建設基本構想」の策定
平成29年9月 新庁舎の位置を「旧奈良県高田総合庁舎跡地」とする条例案、議決
平成30年3月 「新庁舎建設基本計画」の策定
平成30年5月 設計・施工業務 事業者選定公募型プロポーザルの実施公告

※「基本構想」・「基本計画」の策定に当たっては、市民アンケート・パブリックコメントの実施、基本構想等策定委員会、庁舎整備庁内検討委員会などで議論を重ねてきました。

また、事業者選定プロポーザルに当たっては、施設計画・施工計画・地域貢献など提案の企画力及び実現性等について学識経験者で構成される選定委員会で総合的な評価を行いました。(※審査結果の詳細は、「受託候補者の選定結果について」でお知らせしております。)

「プロポーザル方式」とは、発注する業務内容や目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った「事業者（人）」を選ぶ方式です。
従いまして、提案された内容がそのまま実際の新庁舎の設計内容となるものではありません。具体的な設計は、今回選定された設計・施工者と協議して決定していきます。

選定事業者の提案内容

※ごく一部の掲載となっております。
何卒、ご了承ください。

配置計画及び動線計画

市民と行政の協働と、まちづくりの新たな拠点となる「咲きわいの新庁舎」をつくります

市民の誇りとなり、未来へ受け継がれていく市庁舎を目指します。

■ サクラホール（多目的スペース）の提案

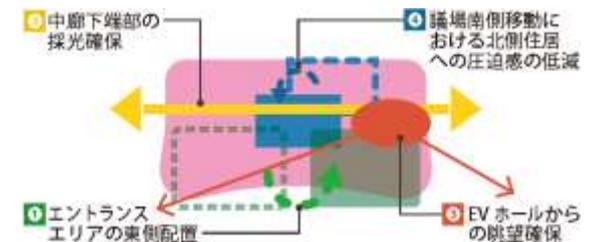
・市民サロンと市民活動室を吹抜け空間でつなぎ、連携することで、いつでも様々な目的で市民が利用できる施設づくりを実現します。多くの市民が集まることで市民と行政が協働しやすい庁舎を計画します。

■ アクセスしやすいゾーニング計画

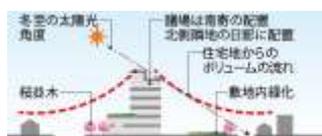
・駅や高田川沿いからのアクセスを重視し、エントランスエリア・市民ゾーンを東側に集約した動線計画とします。
・庁舎出入口は、相談窓口に来庁する人、市民活動を目的に来た人など、その目的に応じて適切に複数箇所設定し、使い勝手のよい平面計画とします。
・執務ゾーンと市民開放ゾーンを明快に区分できる管理しやすい計画とします。

■ だれもが安心して利用できる市民サービス（窓口計画）

・吹抜け空間を中心に、1、2階窓口カウンター廻りを一望できる見通しよいオープン空間と効果的な配置とピクトグラムを用いたわかりやすく大きなサイン計画、さらに電子案内板やコンシェルジュの案内等人的対応により、来庁者が迷わない庁舎づくりを目標とします。
・プライバシーに配慮した窓口や個別相談室の設置、お年寄り・車いすや子ども連れの来庁者を想定した窓口廻り（カウンター形状、キッズスペース他）、分かりやすいサインなど様々な人々へのきめ細やかなユニバーサルデザインを徹底して配慮し、オフィス環境整備業務と連携します。
・待合ロビーはサクラホールや市民サロンと一体の空間で計画し、窓口で待っている時間も様々な場所でくつろいで待つ時間を過ごせる計画とします。
・待合ロビー、サクラホールは南面の緑豊かな広場に面した快適な空間とします。



省エネルギー・省資源 周辺環境・景観配慮



■ 地域環境との関わりを重視した計画

・周辺住宅への環境に配慮し、庁舎高層部は敷地の中央に配置する計画とします。
・階高の高い議場は南側に寄せることで、北側隣地への日影に配慮します。
・来庁者動線を考慮し、南東側に広場や市民スペース（サクラホール、市民サロン等）を配置する計画とします。
・広場には桜並木を設け、高田川沿いの桜並木の景観を庁舎まで導きます。

■ 市民から永く愛される、大和高田にふさわしい庁舎デザイン

・底バルコニーによる水平を強調したシンプルな外観デザインによりまちなみに溶け込む庁舎とします。
・低層部の柔らかな曲線でかたちづけられた水平庇と屋上緑化や桜の植栽が、新たな市のシンボルとして市民に親しまれる庁舎となります。
・サクラホールやその周辺に様々な居場所を立体的に散りばめることで、日常的に市民が気軽に立ち寄り、様々な自発的活動を包含する空間となります。
・県産杉材の木ルーパーの内装デザインや地場産のコットンイメージしたインテリア計画を行い、地域の魅力を積極的にアピールします。

※あくまで提案内容であり、実際の設計とは変更となる可能性があります。